

会長：大原浩行 幹事：川上 勉
事務所：〒301-0824 茨城県龍ヶ崎市下町 2842

連絡先：TEL 0297-64-3956 FAX 0297-64-3978 <http://rcrc.web5.jp>
例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎

本日のプログラム

【通常例会 03.21】
夜間例会・親睦ゴルフ
トラットリア「アルベロ」
会員増強委員会



次回のプログラム

【通常例会 04.04】
夜間例会・観桜会
樹音(牛久市)
会員増強委員会

第1238 例会報告 (2025.03.14)

点 鐘	大原浩行 会長
国歌斉唱・Rソング	それぞこそロータリー
本日のプログラム	ロータリー手帳の活用 横山会員
ゲスト・ビジター	片桐会員・遠藤会員(守谷RC)

平和構築と紛争予防月間

会長報告

会長：大原浩行



♪ 皆さんこんにちは。守谷クラブの片桐さん、遠藤さんようこそ。ミリさん最後の例会楽しんでください。12月に3名の新会員さんが入会していただいたので少しロータリーの話もしいと思ひ今日はロータリークラブの基礎知識をお話したいと思ひます。

1.ロータリークラブとは？ ・国際的な奉仕団体で社会貢献を目的とした会員制の組織 ・1905年にアメリカ・シカゴでポール・ハリスによって創設 ・世界200以上の国と地域にクラブが存在し約120万人の会員が活動

2.ロータリーの理念

・モットーは「超我の奉仕」(Service Above Self)
→自分の利益よりも社会貢献を優先する精神
・四つのテスト(行動指針)

真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

※この四つにテストに照らし合わせて行動していく

3.組織の仕組み：・クラブ(Rotary Club)：各地域にあり、会員が所属する基本単位

・地区(District)：複数のクラブをまとめる単位(日本には34地区 茨城は2820地区)

・国際ロータリー(RI)：世界全体を統括する本部(アメリカ・シカゴ)

4.活動内容(五大奉仕、ロータリアンが実践する奉仕活動の基本)

・クラブ奉仕：クラブの運営や会員の親睦を深め活動を円滑に進める

・職業奉仕：倫理観を持った仕事を実践し社会や後進の育成に貢献する

・社会奉仕：地域社会の発展や福祉向上を目的とした活

動(環境保護、教育支援など)

・国際奉仕：世界平和や異文化交流を促進し国際的な支援活動を行う(ポリオ撲滅など)

・青少年奉仕：若者の育成や教育支援を行う(奨学金、交換留学生など)

5.例会と会員制度：・各クラブは週に1回「例会」を開き情報共有や親睦を図る

・会員は経営者、専門職、地域リーダーなどが多い

・入会には既存会員の推薦が必要で年会費や奉仕活動への参加が求められる

6.ロータリーのシンボル

・エンブレム：歯車(ギヤ)をモチーフにしたデザイン

・ロータリー財団：世界的な慈善活動を行う基金

ロータリークラブは、地域・国際社会に貢献することを目的とした団体であり、会員同士の交流やネットワークを大切にしながら、持続可能な社会づくりに取り組んでいく団体です。

これからは月に1度くらいずつ会長報告で各部門に掘り下げていきたいと思ひます。

■出席状況

会 員	12 名	出席率	100.00%
出席者	8 名		
WEB出席	0 名	Make-up	4 名

定款第10条(第6-7節除く) 松山・堀越・信島・鈴木会員

■ニコニコボックス

目標額	(本年度)	400,000 円	
実績額	本日/累計	11,000円	285,000円

■MESSAGE

大原会長 守谷クラブの片桐さんと遠藤さんようこそ ミリさん本日最後ですね
川上幹事 ミリさん 最後の出席ですね
伊藤会員 ミリさんありがとうございました
海老原会員 今日の名言：今日も生涯の一日なり 福沢諭吉
長友会員 片桐さん・遠藤さん ようこそ
横山会員 分区ゴルフ 楽しみます

例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事 TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。 >>

本日のプログラム

「ロータリー手帳の活用」

横山善英会員



📌 ロータリー手帳は、ロータリークラブの会員が個人の活動やクラブの活動を整理・記録するための重要なツールとして活用されています。ロータリークラブの活動は、単に社会貢献を目的とするだけでなく、会員自身の成長やスキル向上、そして国際的なネットワークを築くことにも焦点を当てています。これらの活動を効果的に管理するためには、ロータリー手帳が欠かせません。本稿では、ロータリー手帳の活用法について、ロータリー関連資料を基に整理していきます。

1. ロータリー手帳の基本的な役割

ロータリー手帳は、ロータリークラブの活動やイベント、個人のスケジュールを記録するためのものですが、その役割は単なるスケジュール管理にとどまりません。手帳を使うことで、会員はクラブの活動やプロジェクトに参加し、その進行状況を把握することができ、また自分自身の目標や成果を反省し、次に生かすことができます。このように、手帳は単なる情報の記録ではなく、自己管理や自己改善のツールとしての役割も果たします。

2. ロータリー手帳の構造

ロータリー手帳は、一般的な手帳と同様に日々のスケジュールや予定を記入するページがあり、加えて、ロータリー活動に特化したセクションが設けられています。例えば、ロータリークラブの会議やイベント、地区大会の予定、社会奉仕活動の詳細などが記入できるページがあります。さらに、会員個人の活動記録や反省を記入できる欄も設けられており、これは会員が自己評価を行い、次の活動に生かすための貴重なツールです。

3. ロータリー手帳の活用方法

3.1 目標設定と自己評価

ロータリー手帳を最大限に活用するためには、まず目標設定が重要です。ロータリークラブの活動は多岐にわたり、地域貢献や国際支援、会員同士のネットワーキングなど、個々の会員が目指すべき目標が異なります。手帳にこれらの目標を明確に記載し、定期的に進捗状況を確認することが、活動の効果を高めるために重要です。

また、活動を終えた後には自己評価を行い、その結果を手帳に記録することが推奨されます。評価を通じて、次の活動で改善すべき点や成功した要因を見つけ出し、次の活動に活かすことができます。

3.2 クラブ活動の記録と反省

ロータリークラブの活動は、社会貢献活動や会議、イベン

トなど様々です。これらの活動を手帳に記録することで、どの活動に参加したか、どのような成果を上げたか、次の活動で改善すべき点などを振り返ることができます。特に、社会奉仕活動などではその成果を反映させることが大切です。手帳には、自分が関わったプロジェクトやその成果、また他の会員との協力内容などを記録し、次の活動に向けた反省材料とすることができます。

3.3 地区大会・国際大会の参加

ロータリーの活動は、地区大会や国際大会などの大規模なイベントを含みます。これらのイベントに参加する際には、事前に手帳に予定をしっかりと記入し、参加すべきセッションやネットワーキングイベントを選定することが大切です。イベント終了後は、学びやネットワーキングの成果を手帳に記録し、それを自分の活動にどう反映させるかを考えることが、次の活動をさらに充実させるために有効です。

3.4 ロータリーの理念や目標を忘れない

ロータリークラブは「奉仕の理想」を基に活動しており、その理念や目標を日々の活動に反映させることが大切です。手帳には、ロータリーの理念に基づいた自己の行動指針を記載し、日々の活動がその理念に沿ったものであるかを確認することができます。特に、ロータリーの4つのテスト（真実か、みんなのためか、良いことか、恥ずかしくないか）を意識した活動記録を手帳に残すことで、常にその精神を忘れずに活動を行うことができます。

4. ロータリー手帳を活用することで得られる利点

ロータリー手帳を活用することによって、会員は個人の活動を整理し、効率的にロータリー活動を進めることができます。また、手帳は会員同士の交流を深めるきっかけにもなり、クラブ活動や奉仕活動を通じて、個々の会員が成長するための貴重なツールとなります。

さらに、手帳を通じて自分の活動を振り返ることで、自己改善の機会が得られ、次の活動での成果を高めることができます。また、会員は手帳を使うことで、自分の目標やロータリー活動に対する意識を高め、より積極的に参加するようになるでしょう。

5. 結論

ロータリー手帳は、ロータリークラブの会員がその活動を効果的に管理し、個人の成長とクラブ全体の目標達成に貢献するための重要なツールです。手帳を活用することで、活動の記録や反省、目標設定を行い、より良い奉仕活動を展開することができます。ロータリーの理念に基づいて行動し、自己管理能力を高めるために、手帳を日々の活動に積極的に取り入れることが求められます。

